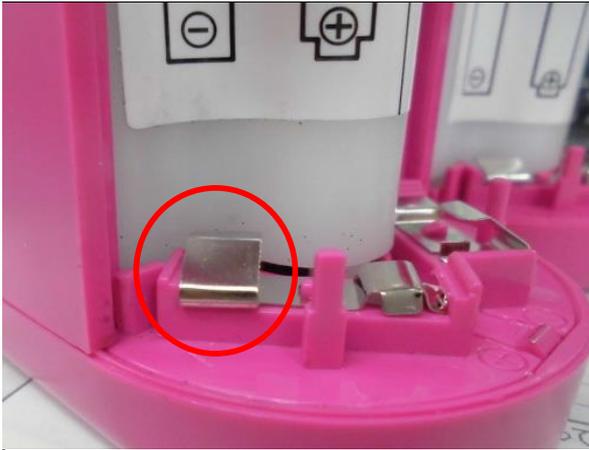


FS-077電池BOX端子つぶれ修復方法



新しい電池を入れても全く動かない場合

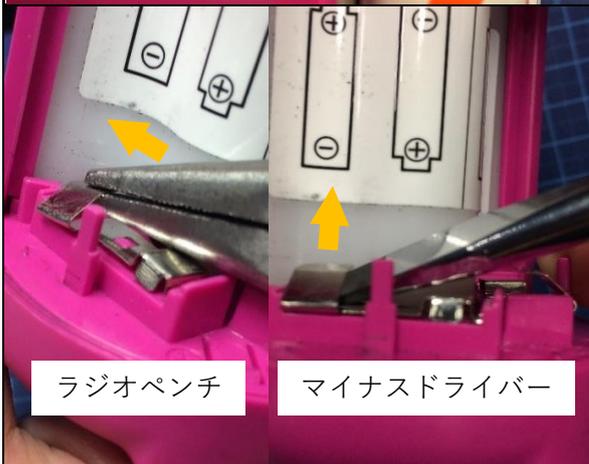
電池ボックスのマイナス側端子が曲がって接触不良となっていることがあります。



1：左図の端子部分を見て、端子の板バネが潰れているようでしたら、ラジオペンチやマイナスドライバー等で丁寧に板バネを戻してください。



電池ボックスのマイナス側端子ですが、電池の向きを間違える（逆挿入）などで潰されてしまった場合、ごく稀にプラス側端子への押し付け力が弱まって、接触不良を起こす場合があります。



2：マイナス側端子の板バネを起こして電池がプラス側端子にしっかり接触する高さにしてご利用ください。

うまく戻せない場合、弊社へお送りいただきましたら、修復しお戻しいたします。当方への送料だけご負担ください。

プラス(株)ステーショナリーカンパニー
お問い合わせセンター FS-077端子復旧係
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28
虎ノ門タワーズオフィス12F
0120-000-007